

平成24年度の中間報告(現状と課題)

1. 総合相談事業

(1) 相談件数

1,046件 平成24年4月1日～平成24年9月30日(別紙参照)

(2) 主な相談内容

相談内容は、高齢者数の増加に伴い認知症支援の件数・割合ともに増えている。高齢者の子世代に当たる中高年の課題も多く、相談内容が複雑化重篤化の傾向も一層進んでいる。一人もしくは一世帯に担当者が複数で支援する事例も増えている。

(3) 地域ケア会議

①地域ケア会議全体会 2回開催(H24年9月末現在)

第1回 平成24年6月19日 「高齢者と薬」

講師：医療法人悠気会熊谷病院 薬局長 片倉道啓氏

外部講師を依頼し開催。認知症薬や肺炎球菌など高齢者に関わりの多いものを中心に説明があった。薬剤師からの講義は初めてだったがアンケート結果も良好であった。

第2回 平成24年9月27日

「情報提供 ～市内介護老人保健・福祉施設、高齢者住宅紹介～」

いしかり医療と福祉のまちづくりひろば(旧石狩地域リハビリテーション推進会議石狩地域懇談会)との共催で実施した。地域リハビリテーションの概念を当センター職員から解説の後、現在注目され市内でも建築が進んでいる高齢者住宅をはじめ、介護保険施設の各担当者がプレゼンテーション形式でPRする場とした。

②地域ケア会議専門部会 3回開催(H24.9月末)

※4月は日程調整できず7月は事例なく休み

9月末時点で、事例検討は合計2事例で、ケアマネジャーからの事例が1事例、包括から1事例を検討した。検討された事例は精神疾患等のため支援や介入が困難なケース等であった。また1回は地域課題の検討としてセルフネグレクトをテーマに参加者にて意見交換を行った。事例内容によって熊谷病院相談員、江別保健所精神保健担当保健師、「石狩市相談支援センター(ぷろっぷ)」も参加している。

③処遇困難事例検討会 10回開催 (H24. 9月末)

事例の内容としては、家族支援の薄い徘徊のある認知症、身寄りのない精神疾患世帯(ゴミ屋敷)、子世代の中高年に課題のある事例などの支援について話し合った。高齢者に疾患等の課題があるだけでなく、身寄りがない、また身寄りがいても関係が希薄、破たんしていることにより困難度が増している。

ケアマネジャーや包括だけでは解決困難な事例も多く、一度の会議では解決できず会議の回数を重ねて方策を検討している。

(4) 実態把握調査 7件 (H24. 9月末)

- ①二次予防事業対象者把握のための基本チェックリストを郵送する時に、市独自の質問を追加し、その回答内容からハイリスクと思われる方の名簿を作成し実態把握を依頼。
- ②民生委員による高齢者等訪問事業実施時に、当センターで作成した調査票を基に70歳以上のみで構成する世帯の調査を依頼した。回収できた調査票からハイリスクと思われる方を抽出し、実態把握を依頼。
- ③また、市の福祉サービス利用者で介護保険認定を受けていない高齢者の実態把握を依頼。
(上記事業は、地域包括支援センターホットライン21、介護予防センター石狩希久の園に委託)

(5) 市民講演会

平成24年10月5日「ザ・遺言」

(6) 福祉用具の短期貸し出し

9月末現在、相談件数が12件、延べ13品の貸し出しがあった。

2. 権利擁護事業

(1) 高齢者虐待防止ネットワーク事業

花川北包括への虐待新規相談数 7件 (虐待認定数3件) (H24. 9月末)

①高齢者虐待相談について

高齢者本人が介入を拒み実態把握が困難で虐待認定に時間を要する事例や虐待として相談が入ったが実際は別の問題を抱えている事例があった。

基本的に虐待相談は複数で入り対応を協議している。

②高齢者虐待防止ネットワーク会議(全体会議)

平成24年8月29日に開催

③高齢者虐待防止ネットワークケース検討会議

9月末時点での開催は1件であった。

(2) 成年後見制度に関する支援について

相談数 8件 相談内訳(法定後見7件) (H24. 9月末)

成年後見制度利用支援事業利用状況

市町村申し立ては、9月末時点で2件。この他1名について今年度中に申請予定である。

(3) 消費者被害に関する支援について

高齢者防犯連絡網の活用2回

(内訳：北警察署からの情報0回、その他2回) (H24.9月末)

「高齢者防犯連絡網」(平成20年8月北警察署と協働で作成)を活用し、高齢者等防犯情報を介護福祉関係者や事業所への情報発信、注意を促している。

3. 包括的・継続的なマネジメントについて

(1) ケアマネジメント支援について

処遇困難事例の相談や高齢者虐待事例などケアマネジャーからの相談時には、助言だけではなく、処遇困難事例検討会や専門部会の開催、地域包括支援センター職員のサービス担当者会議出席、ケアマネジャーと役割分担して包括職員も訪問に入る等の後方支援を行っている。

(2) 居宅介護支援事業所訪問

居宅介護支援事業所 1月実施予定

地域包括支援センターホットライン21センター長、主任ケアマネジャーと同行訪問。ケアマネジャーと意見交換し、課題を共有の上、解決に向けて支援を継続中。

(3) その他

ケアマネジャーへの情報提供として、介護保険施設やグループホーム、高齢者住宅の空き情報などをメールで情報提供している。

また、石狩市介護支援専門員連絡会に地域包括支援センター職員もテーマに応じて会議に出席し、課題共有の場となっている。

4. 介護予防事業

(1) 一次予防事業

①ニコピンおたっしや講座

1回開催。延66名。

②おげんき塾

継続開催5か所の支援実施。20回、実73名、延213名。

③太極拳教室

年2コース開催。1コース(10回)終了。実11名、延84名参加。

④健口教室

3回開催。実37名、延37名参加。

(2) 介護予防ケアマネジメント(二次予防事業対象者関連)について

昨年度から二次予防事業対象者の把握方法は、基本チェックリストを郵送し、

回収する方法に変更した。今年度の郵送は7月、11月、3月に実施する。

7月の実施状況は、発送1,192名、回収810名（回収率68%）、二次予防事業対象者219名（該当率27%）であった。

（3）二次予防事業

①パワーリハビリテーション事業

年3コース開催。2コース目途中。31回、実24名、延341名。

②ニコピン倶楽部

年43回。21回開催。実8名、延136名。

（4）介護予防支援ケアマネジメント（要支援者関連）について

- | | | |
|---------------|--------------|-------|
| ①予防支援給付管理数 | 9件（H24.9月末） | 月平均9件 |
| ②H24年度新規支援件数 | 延0件（H24.9月末） | |
| ③介護予防支援委託事業所数 | 4か所（H24.9月末） | |
| 介護予防支援委託人数 | 6件（H24.9月末） | |

5. その他

（1）介護相談員派遣事業（H24.9月末）

市内介護保険施設 6か所 月1～2回定期訪問 延34回訪問

市内グループホーム 17か所 延5回訪問

石狩市シルバーホームはまなか荘 延2回訪問

個別訪問等 延96件

グループホーム運営推進会議にも出席し、通常の訪問では得られないホームでの活動や悩みなどを聴く機会になっている。施設の行事にも出席している。

（2）認知症サポーターの養成

- ・養成講座：4回開催、認知症サポーター数112名（延1,912名）。
- ・認知症サポーターを対象にステップアップ研修を2月に開催する。

（3）ニコピン編集局への支援

- ・年4回発行予定の「遊歩」を事務局員として側面支援している。

（4）介護予防プロジェクトチーム

- ・全体会議開催。参加各課の現状・課題等を検討し、今後の活動に結び付ける。

（5）協働事業の推進

- ・「地域交流サロン エルサ」との協働継続。
- ・石狩市グループホーム連絡会との協働事業として、「まちかど介護相談所」を市内介護保険事業所15か所に設置。

平成24年5月23日開設時研修及び相談員意見交換会開催

H24年9月末で実2件／延2件の実績。